

J A まにわのご案内

# Disclosure

ディスクロージャー / 2007.9

# ごあいさつ



平素より、私どもJAまにわをご利用、お引き立ていただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当JAでは業務内容、活動状況等について皆様にご紹介するため半期(9月末)の「JAまにわのご案内(ディスクロージャー)」を作成いたしました。この小冊子により、皆さまの当JAに対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

当JAとしましては自己資本の充実や不良債権の処理等、財務健全化に努めてまいりましたが、引き続き皆さまに信頼される地域の経済・金融機関となるよう取り組んでまいり所存でございます。

今後とも、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年11月

真庭農業協同組合

代表理事組合長 馬場 克之

# 半期ディスクロージャー

## 1. 金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債権区分	平成19年3月末	平成19年9月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	220	214	6
危険債権	407	428	21
要管理債権	17	10	7
正常債権	18,411	20,025	1,614
合計	19,055	20,677	1,622

- 注 1. 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」  
破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。
2. 「危険債権」  
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
3. 「要管理債権」  
要注意先に対する債権のうち「3ヶ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」をいいます。
4. 「正常債権」  
債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、要管理債権、危険債権、破産更正債権およびこれらに準ずる債権以外のものに区分される債権をいいます。
5. 金融再生法債権のうち、要管理債権は貸出金、その他の債権は信用事業と信額（貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、信用未収利息、信用仮払金）を開示の対象債権としています。

## 2. 単体自己資本比率

平成19年3月末	平成19年9月末（見込み）
11.63%	11.77%

- 注 1. 平成19年3月末より、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年金融庁・農林水産省告示2号）の規定に基づいて自己資本比率を算定しています。

## 3. 主要勘定の状況

（単位：百万円）

	平成18年9月末	平成19年3月末	平成19年9月末
貯金	105,781	103,624	108,129
貸出金	17,543	19,006	20,597
預け金	83,048	80,212	83,967
有価証券	3,573	3,652	3,133

## 4. 有価証券等時価情報

【有価証券】

（単位：百万円）

種類	平成19年3月末			平成19年9月末		
	帳簿価格	時価	評価損益	帳簿価格	時価	評価損益
満期保有目的	1,339	1,330	9	1,739	1,732	7
その他	2,304	2,313	9	1,391	1,394	3
合計	3,643	3,643	0	3,130	3,126	4

- 注 1. 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。
2. 帳簿価格は、満期保有目的有価証券またはその他有価証券については償却原価法適用後、減損適用後の帳簿価格を記載しております。

## 5. 地域貢献情報

全般に関する事項	
協同組織の特性	<p>当組合は、真庭市（旧北房町を除く）、真庭郡新庄村を主な事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。</p> <p>当組合の資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としています。そして、その源泉をもとに資金を必要とする組合員の皆様や地方公共団体などにもご利用いただいています。</p> <p>当組合は、地域の一員として農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて「組合員のしあわせづくりと地域社会への貢献」を目標に事業展開をしています。</p> <p>また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組織として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。</p>
組合員数・出資金	<p>組合員数：正組合員 11,938 名 准組合員 4,157 名 出資金： 2,580,099 千円</p>
1. 地域からの資金調達の状況	
(1)貯金積金残高	貯金：104,674 百万円、定期積金：3,455 百万円
(2)貯金商品	<p>年金優遇型定期貯金、グルメ定期積金、観劇定期積金</p> <p>上記の他、各種定期貯金、定期積金等を準備しています。</p>
2. 地域への資金供給の状況	
(1)貸出金残高	<p>組合員等： 12,669 百万円 地方公共団体： 6,083 百万円 その他： 1,845 百万円</p>

<p>(2)制度融資取扱い状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業改良資金 （9月末実績：10,760 千円） 新しい農業技術の導入等、自主性と創意を活かしつつ新しい農業経営にチャレンジする場合に、農業普及指導センターの認定を受けると無利子で融資する制度資金です。</li> <li>・ 農業近代化資金 （9月末実績：71,404 千円） 農業経営の近代化に資することを目的として行なう農業用施設等の改良、造成、取得等に必要資金を民間金融機関から長期かつ低利に借りられるよう、県が利子補給を行なう制度資金です。</li> <li>・ 農業基盤整備資金（9月末実績：770,960 千円） ほ場整備等による農業基盤整備及び下水道整備などの農村環境づくりのための資金です。</li> <li>・ 中山間地域活性化資金 中山間地域の農林畜水産物の加工流通施設、農林水産資源を活用した保健機能増進施設及び生活環境施設の整備を促進するための資金を長期・低利で融資する制度です。</li> <li>・ 畜産特別資金 （9月末実績：8,891 千円） 畜産経営体の約定償還金等の負担を軽減し、経営の安定と活性化を促進するもので、資金を融資した金融機関に対し、中央畜産会・県・農協中央会等が利子補給を行なう制度資金です。</li> </ul> <p>上記の他、各種制度資金を扱っていますので、お近くの支所にご相談ください。</p>
<p>(3)融資商品</p>	<p>地域農業者に対して、農業経営改善促進資金・営農ローン・アグリマイティ―資金等の他、必要に応じて災害時の緊急融資を随時行っています（平成16年度は冷夏長雨資金・雪害対策資金を創設・実施）。</p> <p>上記の他、各種貸出金・ローン等を準備しています。</p>

### 3 農業振興活動・文化的・社会的貢献に関する事項（地域とのつながり）

<b>(1)農業振興活動</b>	<p>地域農業の担い手としての集落営農組織を各地域に適合した形態で提案し、その育成指導に努め2組織の法人化を実現しました。</p> <p>また、主要作目の稲作では県下に先駆けて蒜山地区のアキヒカリ生産振興協議会、南部地区のヒノヒカリ生産振興協議会の2組織を組織化し、八束・落合の両ライスセンターに設置しました色彩選別機の活用と併せて米の有利販売に努めました。</p>
<b>(2)文化的・社会的貢献に関する事項</b>	<p>地域の一員として各地区で行われる行事やイベントなどに参加するとともに、職員に対しても積極的な参加を促しています。また、カーブミラー・横断旗・夜光たすき等の交通安全施設の寄付、年金相談会の開設などを行っています。</p>
<b>(3)利用者ネットワーク化への取り組み</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・年金友の会（会員数 9,043名） 年金の受取りを当JAに指定して頂いている方の組織で、球技大会や親睦をかねた観劇・旅行などを行っています。</li><li>・ひまわり会（会員数 43名） ヘルパーの有資格者を中心とした組織で、介護ボランティア・ミニディサービス・老人施設の慰問等の活動を行っています。</li></ul>
<b>(4)情報提供活動</b>	<p>当JAでは、広報誌「きらめき」を発行し組合員をはじめ地域の皆様にご覧頂いています。また、ホームページを開設し折々のJAの様子についてお知らせしています。</p>
<b>(5)店舗体制</b>	<p>金融店舗として、本所、勝山・美甘・川上・八束・湯原・久世・垂水・福田・美川・上河内支所の11店舗と真庭市庁舎・月田・富原・新庄・中和・米来・古見・旦土・下河内・道の駅「醍醐の里」にATMを設置しています。</p>